

目標地図作成に向けて

京都府 精華町農業委員会

1 農業委員会の体制と市町村行政との連携状況

○ 農業委員：	14人
○ 農地利用最適化推進委員：	5人
○ 事務局職員：	3人
○ 市町村行政との連携状況：	
地域の話し合いに町担当者、事務局、地域推進役で出席予定	



2 地区の特徴、状況、課題

(市町村の概要) 京都府の南西端に位置し、併せて日本そして近畿圏の中で、ほぼ地理的中心に位置している。
(地区の概要) 西部と南部はなだらかな丘陵、東部には平坦な農地が広がり、東端には木津川が流れている。
(地区の課題) 後継者問題や鳥獣被害等による荒廃地化や非農地判断の推進を進めていく。



3 委員による継続した話し合いの取組内容

○令和6年2月・3月総会において、4月中に地区担当の農業委員・農地利用最適化委員が中心となって各地区の話し合いの場を設定することを確認。
○令和6年5月には現況地図の作成と地域の課題を洗い出しを行い、8月中を目途に目標地図を作成へとつなげていく。
○地域の話し合いの中で、非農地判断が必要な農地についても洗い出しを行うとともに非農地判断についても進めていく予定。

4 成果（京力農場プランの目標実現に向けた取組内容）

○令和3年度にアンケート調査を実施。
○令和4年度に2地区で説明会を実施。1地区で現況地図作成に取り組んだ。
○各地域での話し合いを進めながら、目標地図作成へとつなげていく。

※事例候補（地区連絡会議の単位が望ましい）の選定や作成にあたっては、農業会議の現地推進役と相談してください